

♪ 2020年度 **poco a poco** ♪

Nr. 21 2021年2月18日(木)

文責:プファイル・辰巳

小学部・対面授業再開

2月22日から小学部のみなさんが登校できることになりました。中学部1・2年生のみなさんは、残念ながらオンライン授業が続きます。3学期の残りはあと3週間。この3週間で現学年のまとめをしっかりしないといけませんね。

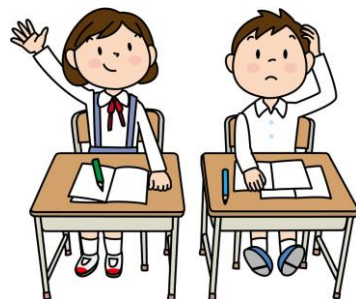
音楽の授業では、合唱や鍵盤ハーモニカ、リコーダーなどの練習に制限があり、今年度は例年のように十分に練習できなかつた部分もあります。メロディを覚えたり、指使いを勉強したりという基本的なことは2学期の授業や3学期のオンライン授業を通じて済ませました。ただ、実際の練習はというと家庭学習で補っていただく部分が多くなりました。ご協力ありがとうございました。

対面授業が始まって、しばらくは合唱と管楽器の練習には制限が設けられたままです。3学期の残りの期間と春休みの間に、今年度習った鍵盤ハーモニカやリコーダーの指使いの復習をしておいていただくとありがたいです。4月からは、元気な声で思う存分歌ったり、みんなで鍵盤ハーモニカやリコーダーを楽しく合奏したりできるようにすることを祈っています。

音楽こぼれ話 <追悼 ジャズピアニストの巨匠

Chick Corea (チック・コリア) >

アメリカ出身のジャズピアニスト、チック・コリアの訃報が届きました。コリアは1941年、アメリカ合衆国マサチューセッツ州に生まれました。ジャズ・トランペット奏者だったお父さんの影響を受け、幼いころからピアノやドラムに親しんでい



たそうです。ジュリアード音楽院に入学しましたが、演奏活動に専念するため、早い段階で中退してしまいました。1960年代から精力的に演奏活動を行い、マイルス・デイヴィスらと共演しました。この頃から電子楽器をジャズに取り入れたりもし始めました。1972年に作曲された名曲「スペイン」は、ギターからフルオーケストラまで、様々な楽器編成で、世界中で愛され演奏され続けてきました。

コリアはジャズ音楽に電子楽器の音色を取り入れただけではなく、ロックやラテン音楽との融合も図り、フュージョンの先駆者とも言われています。また、50年以上の演奏活動の中で、アメリカ音楽界最高の荣誉とされるグラミー賞に67回ノミネートされ、23回も受賞しています。近年まで来日公演も精力的に行っており、日本人ジャズピアニストの上原ひろみさんとも再三共演しました。

「音楽の炎を燃やし続ける旅路を支えてくれたすべての人々に感謝します。」というコリア自身の最後のメッセージと共に、2021年2月9日、癌のため79歳の生涯が閉じられたことが、彼の公式サイトに発表されたのは2月11日のことでした。

おまけのこぼれ話 <大作曲家のお言葉より>

„Man muss lernen, was zu lernen ist,
und dann seinen eigenen Weg gehen.“ G.F. Händel

「学ぶべきことは学ばねばならない。それから己が道を進むのだ。」

1685年2月、ドイツのハッレという町に生まれたヘンデルという作曲家の言葉です。同じ年の大作曲家に、J. S. バッハ(大バッハ)がいます。「厳格な教会音楽作品の多いバッハ」に対し、「華やかな世俗オペラや器楽作品の多いヘンデル」と言われる二人の作曲家。上記の言葉を読むと、一瞬、職人仕事のようにコツコツと、毎週の礼拝音楽を作曲し続けたバッハの言葉かと思われそうですが、実はヘンデルの残した言葉なのです。

華やかな音楽活動の陰で、作曲家も演奏家も、実は日々の鍛錬や勉強を積み重ねています。スポーツや他の分野でも同じことが言えると思います。楽をして一足飛びに結果を得ようとせず、地道に努力する姿勢を見習いたいものです。そうすることで、自分の道が開けていくことを教えてくれるヘンデルの言葉ですね。

